

# 2学期からALT2人体制になります



ジェニファー  
**Jennifer**  
ローレン  
**Lauren**  
バーディーン  
**Burdeen** さん

小学校での英語学習の拡充にともない、2学期から現ALT(外国語指導助手)のチャンさんと2人で市内の学校や幼稚園などをまわります。

新ALTのジェニファーです。  
赤平のことを知りたいので、どこかで会いましたら、赤平のすてきなところ・行ったほうが良いと思うところをたくさん教えてください！

## 【ジェニファーさんからのごあいさつ】

アメリカのフロリダから来ました。大学では国際関係を専攻、日本語と世界史、美術を副専攻として勉強しました。昔、親戚が沖縄に住んでいたこともあり、小さな頃から日本に興味がありました。論文の題材にいつも日本に関係するテーマを選んだほどです。日本に来て、アメリカでは体験できない茶道などの伝統的なものや、フロリダは雪が降らないので冬のスポーツに挑戦したいです。また、北海道は自然がすてきな場所なので写真をたくさん撮りに行きたいと思っています。

問合せ 学校教育課学校教育係 ☎32-1822

## 平成34年 統合小学校の開校に向けて

平成29年に策定しました「赤平市立小・中学校適正配置計画【変更】」に基づき、住民説明会・広報を通じてお知らせしたところですが、このたび、茂尻小学校PTA・豊里小学校PTA・赤間小学校PTAから3校統合の同意が得られました。

このことから、旧赤平中学校を除却し、その跡地に新校舎を建設する予定です。平成34年4月の開校を目指し、赤平市唯一の小学校となることから、シンボリックな小学校になるよう赤平市立小学校統合準備委員会で協議を進めます。



問合せ 学校教育課総務係 ☎32-1822

## 赤平市公設塾の開設

学力向上と学習習慣の定着化を目的として、塾の講師による公設の学習塾を、今月から来年2月までの間(学校の冬休み期間を除く)開設します。

受講を希望される方は申し込みをしてください。



### 【公設学習塾(中学生対象)】

会場 交流センターみらい  
開設日 毎週水曜日  
※開催時間の詳細についてはお問い合わせください。  
授業料 無料  
教材費 1・2年生1,000円 3年生2,000円  
※いずれも年間の教材費です。  
申込受付 随時

### 【子ども塾(小学生対象)】

会場 文京児童館、豊里児童センター、茂尻児童館  
開設日時 (文京)毎週木曜日 15:00~17:00  
(豊里・茂尻)毎週金曜日 15:00~17:00  
※行く時間・帰る時間は自由です。  
授業料 無料  
教材費 無料  
申込受付 随時

申込み・問合せ  
学校教育課 ☎32-1822

戦後73年

# 原水爆禁止 2018 世界大会「広島」派遣 中学生からのメッセージ

8月4日(土)から7日(火)まで、広島県で「原水爆禁止 2018 世界大会」が開催され、赤平市から2名の中学生が参加しました。広島で受け継いだ平和への思いをつづりました。



赤平中2年  
佐藤慎之助くん

私たちは「被爆73周年原水爆禁止世界大会」で被爆した方からお話を聞きました。そこでとても心に残っている言葉があります。「自分にできる平和の努力をすること。平和は自分でつくって、つかみとるもの。」というものです。この言葉を聞いて私は平和に関する活動に積極的に取り組んでいこうと思いました。

フィールドワークで被爆二世の方に平和公園を案内していただいているときに「アオリギの話」を聞きました。原爆が落とされたとき、爆風や熱でほとんどの木がなくなってしまうのに、あるアオリギという木だけが残ったという話です。今でも葉を茂らせているアオリギですが、原爆によって縦に割れたあとが残っていて、原爆の被害の大きさを感じとても恐ろしく思いました。

「メッセージfromヒロシマ2018」にも参加しました。そこでは全国の各都道府県から集まった小中高の学生がこの二日間で学んだことを発表したり、平和への願いを色紙に書き、最後に集めてハートの形にしたりしました。この活動を通して、中学生だけでなく自分よりも下の学年の小学生たちも本気になって考えている姿に驚くとともに、自分が小学生の頃はこんなに真剣に平和について考えていなかったのを感じました。

今回の体験を通して今まで私はしてこなかった「自分ができる平和の努力」をしようと思えました。例えば平和にかかわる署名運動に協力したり、平和のための行進に参加したりなどです。そして、この経験で感じたことをいろいろな人に伝えていきたいと思っています。



赤平中2年  
佐藤陽乃さん

1945年、8月6日、午前8時15分、原子爆弾(原爆)が投下され、強烈な熱線と爆風、そして放射線が人々を襲いました。一瞬にして当時の生活が奪われ、その年約14万人もの人々が亡くなったそうです。私は原爆ドームや資料館を見たり、被爆者の方の話を聞いたたり、言葉では表せないような恐怖や悲しみを感じ、複雑な気持ちになりました。

8月4日から7日まで私は広島へ行き、「原水爆禁止世界大会」に北海道代表団として参加してきました。広島に着いてすぐに私は今までに体験したことのないような「暑さ」に驚きました。

私たちは折鶴平和行進に参加しました。各都道府県からの大勢の人たちだけでなく、いろいろな国の人たちが参加していて、原爆の

恐ろしさ、そして平和を願いながら歩きました。平和を願って行進する人がこんなにも大勢いることに驚きました。私も一緒に平和を願いながら行進しました。そして「被爆73周年原水爆禁止世界大会」に参加しました。そこで心に残ったのは被爆者の方の「戦争は人を苦しめる。自分にできる平和の努力をすること。平和は自分でつかみ、取りあげるもの。思いやる心を持ち、優しい人になってほしい。」という言葉です。平和のために小さなことでも私たちができることをしっかりとやり伝えていきたいと思えました。

戦後73年になり、戦争を体験した方々が高齢化し、生の声を聞くことが難しくなっていく問題があるそうです。ですから私も今回被爆

爆者の方の貴重なお話や、学んできた戦争の恐ろしさ、核の恐ろしさ、戦争と核がおこした悲惨な出来事を一人でも多くの人々に伝えていきたいと思っています。また、広島の子どもたちも戦争のことについて学んで考えているということだったので、私もこれからしっかりと戦争のことや平和について考えていきたいと思っています。

私は学校の勉強でしか戦争について知る機会がありませんでしたが、今回広島に行ったことで、たくさんのことを学び、感じる事ができました。私には、大切な家族、友人、思い出、そして夢や希望を描く未来があります。このようなことを大切に、原爆により一瞬にしてそんな平和がなくなった方々のことを忘れず、これからの経過していきたいと思えます。

今回は大変貴重な体験をすることができ、感謝しています。本当にありがとうございました。

今回は大変貴重な体験をすることができ、感謝しています。本当にありがとうございました。